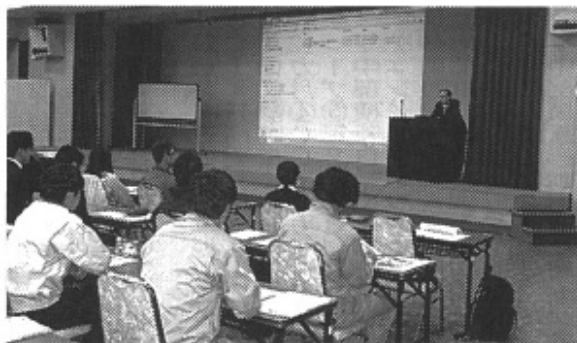


68社182人が参加

群馬県建設産業人材確保  
協議会、新入社員研修会

群馬県の「建設産業人材確保・育成に関する協議会」は12日、「17年度新入社員研修会」を前橋市の群馬建設会館で開いた。群馬県建設業協会（青柳剛会長）から46社、協議会に加盟する各専門工事業団体などから22社、計68社の182人が参加した。

研修会では3人の講師が講義。最初に講義した福田義浩建設経営サービス調査



事業部調査役は「次世代を担う君たちにこれだけは知っておいてほしい建設業のこと」をテーマに東日本大震災直後の道路啓開作業や社会資本のメンテナンスなど建設業が多面的な役割を果たしていることを紹介。日本の建設産業の構造や課題について分かりやすく解説した。

行政書士・ファイナンシャルプランナーの飯塚重紀氏、イメージアップコンサルタントの田中アイ氏は、社会人に求められるマナー、コミュニケーション技術についてそれぞれ講義した。